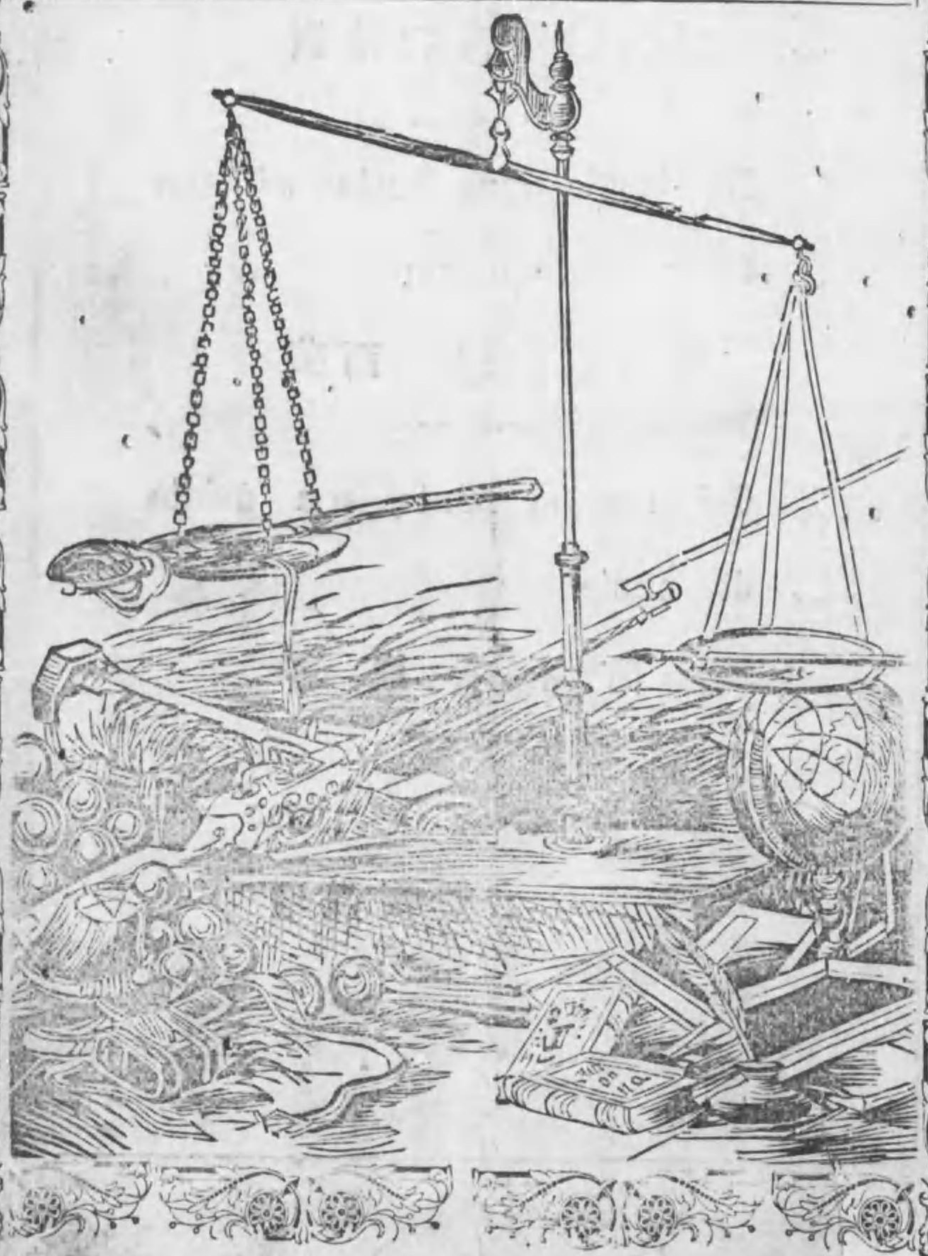
明治十一年十二月廿一日刊行

郵便遞送免許

教育新聞

第貳拾三號



始

論說

日本教育探原　前号ノ續キ

夫レ保元平治以後朝廷委靡政務武權ニ歸スルヨリ復大學ノ存廢ヲ議スル者ナシ保元ノ初大學頭藤原敦光ノ上疏アリト雖ヒ事遂ニ行ハレス後十數年ヲ經テ治承元年京師大ニ火アリ大學亦延燒シ以後學察再ヒ脩ラス元暦文治ニ至リ政權長ク武門ノ有トナリシヨリ朝廷復治務ヲ問ハス大學ノ制遂ニ毀廢ニ屬シ文章博士ノ官專門諸家之ヲ世襲スルノミ鎌倉源實朝文學ヲ好ムモ文弱ニ流レ果斷ノ勇ナク文教ヲ以テ綱紀ヲ振フ能ハス實朝亡後其母平政子專政事ヲ決シ又常ニ書ヲ讀ミ頗ル故事ヲ識リ菅原爲長ヲシテ國字ヲ以テ貞觀政要ヲ譯セシメ之ヲ政事ノ法則トシ續テ執權此條泰時憲令五十條ヲ定メテ幕府ノ法制トス泰時亦常ニ文士ヲ引キ政務ヲ顧問シ且子孫ヲ戒メテ曰ク治ヲ爲スハ文ニ由ル汝等宜シク意ヲ留ムヲ可シト是ヲ以テ之ヲ觀ルニ泰時稍文ノ貴重ス可キヲ知ル者乎其弟實泰文庫ヲ金澤ニ建テ和漢ノ群書ヲ納メ北條氏ノ子孫及ヒ諸將ノ子弟皆此所ニ於テ習學セリ乃チ鎌倉諸將ノ大學ト稱ス可キ地位アリ北條氏亡フルニ及ヒテ該校亦衰矣建武中興日淺ク未ク文教ヲ興スニ暇アラス亂亡相襲クモ尙北畠准后ノ神皇正統記等アリ播遷ノ間上下尙斯文ヲ講スルヲ知ルニ足ル足利尊氏將府ヲ鎌倉ニ開クヤ僧文慧是圓等八人ヲ召シテ政事ヲ咨詢シ建武式目ヲ定ム自是以降足利氏ノ史筆總テ緇徒ニ屬シ教書移文其手ニ出テサル者ナシ此時ニ當リテ五山ノ僧徒義堂絕海等最文章ヲ能クシ一時ニ名アリ於是乎上下教育ノ權政權ト全ク割判シ寺門ニ隸屬ス尊氏ノ少子基氏關東管領タルヤ其傅上杉憲顯ト計リテ足利學校ヲ興隆ス足利學校ハ古昔國學ノ存スル者ト稱シ或ハ小野篁ノ設ル所トシ或ハ足

（羅丁語）Vertuti, non armis, fido.

因德行而不因兵威

（佛語）La beaute sans vertu est une fleur sans parfum.

香無花猶德無而美

（伊語）Chi non sa niente, non dubita di niente.

不識者不問

（英語）Knowledge is power

智識則權力也

利義氣トス共ニ明徴ナシト雖モ足利ハ足利家父祖基業ノ地ナルヲ以テ彼ノ金澤學校ニ擬シ累代之ヲ補輔セシヤ知ル可シ是レ亦當時ノ大學校タリ其後永享年間上杉憲實關東ヲ管領シ多少書籍ヲ明朝ニ求ノ學田ヲ付シ禪僧快元ヲメ之カ教授タラシム爾來上杉氏累世之ヲ繼續シ兵馬騷擾ノ際能ク之ヲ維持シテ海内一所ノ學校ト稱スルニ至レリ其後應仁ノ大亂トナリ十有一年間京師戎馬ノ場ト變シ上公卿ノ第宅ヨリ下百執事ノ家ニ至迄悉ク兵燹ニ罹リ典籍書冊散逸シテ其存スル所ヲ知ラス織田氏足利氏ニ代リ豐臣氏又之ニ代リ天下ニ号令スルト雖ヒ用武ノ弊遽ニ崇文ノ化ヲ復スル能ハサル也

夫レ武ハ以テ亂ヲ平ケ文ハ以テ成ルヲ守ル故ニ曰ク乃公馬上能ク天下ヲ取ルモ焉上之ヲ治ム可シヤト寔ニ然リ噫古來王朝ノ盛ナル京師ヲ大學ヲ建テ諸國ニ國學ヲ設キ文物稍見ル可キ者アル矣孝謙天皇嘗ヲ敕シテ曰ク國ヲ治メ民ヲ安スルハ必ス孝ヲ以テ本トス百行ノ源之ニリ先ナルハナシ其レ天下ヲシテ家毎ニ孝經一本ヲ藏メ日夜之ヲ誦習セシム可シト是レ唐制ニ模倣シテ其學ヲ求ムルニ似タリト雖ヒ亦後世ニ比スルニ教化ニ意ヲ用ヰシニ非ヤ爾後數百年一治一亂斯文ノ堙滅叶久シキ矣

德川氏天下ヲ掌握スルヤ初トシテ儒雅ヲ崇ヒ治道ヲ講求シ再ヒ教化ノ世ニ遇キヲ見ルヲ得タリ是時ニ方リテ藤原惺窩林道春等輩出シ太ニ天下ニ令シテ遺書ヲ搜索ス卽チ學校ヲ京師ニ建テ惺窩ヲ以テ學頭トシ文庫ヲ江戸城内ニ置キ古書ヲ得ル毎ニ之ヲ刊行ス惺窩名ハ肅參議爲純ノ子ナリ名教ヲ以テ自任シ譽望頗ル高シ足利氏ノ末擾亂相尋キ文教ノ道地ニ墜チシニ海内再ヒ文運ノ化ニ浴スルハ寔ニ家康ト惺窩ノ力ナリ其後道春學校ヲ江戸上野ニ建テ弘文院ト云フ其子孫代々德川氏ノ學務ヲ掌リ遂

ニ海内ノ文權ヲ握ルニ至リ漸ク文教ノ經徒ヲ脫スル階梯ヲ得タリ矣

德川五代將軍綱吉大ニ文學ヲ好ミ元祿三年大成殿ヲ造リ其明年綱吉親ラ釋奠ヲ行ヒ祭田學料ヲ置キ大ニ生徒ヲ養ハシム卽昌平學校是ナリ綱吉薨シ家宣嗣キテ立チ復學ヲ好ミ新井君美ヲ龍シテ政事ニ參預セシム君美白石ト号シ一世ノ學匠タリ或ハ曰ク方今洋學ノ盛ナルモ其源君美ニ矯矢スト是時海内妻然トシテ文教興リ室、雨森、松浦、祇園、西山、南部、三宅櫛原、岡島、岡田、堀山、向井、平原、等アリ蓋シ木下順庵ノ門ニ出ルヲ以テ世ニ木門ト喚ヒ林家ト並稱ス當時文學ノ士二門ヲ推スト雖ヒ尙京師ニ伊藤仁齋父子アリ江戸ニ物徂徠アリ亦一時ノ冠冕ニシテ共ニ文教ヲ補フ

夫レ上ノ好ム所下之ニリ甚シキ者アリト宜ナル乎哉享保ノ際德川氏學校ノ制ヲ立テ講筵ノ規ヲ設ケ大ニ教育ノ基ヲ興ハヤ醫候ノ藩國又所在ニ學校ヲ設立セリ其最著名ナルハ上杉景勝ノ興讓館前田利長ノ文ヲ明倫堂ト稱シ武ヲ經武館ト稱スル池田光政ノ閑谷學校等ニシテ其他尙尾張ノ明倫堂水戸及ヒ佐賀ノ弘道館肥後ノ時習館薩摩ノ造士館仙臺ノ養賢堂會津ノ日新館萩ノ明倫館伊勢ノ有造館等是ナリ爾後數十年ヲ經慶應三年十月將軍德川慶喜大政ヲ朝廷ニ奉還ス其明年明治ト改元シ大ニ庶政ヲ更張セラル卽三月學習院ヲ京師ニ建テ文教ヲ振興ス爾來文部省ヲ置キ學制ヲ頒布シ教育ノ基礎ヲ定メラルヽニ至ル矣之ヲ新政教育ヲ敷クノ始トシ之ヲ本邦普通教育アルノ始トス　（畢）

漫錄

女子ハ柔順ヲ以テ其婦道ヲ得タリト爲スト雖ヒ其言タル何ニテモ柔弱ニシテ氣力モナシ唯々諾々一

ニ夫言ニ廿從ス可シトノ謂ニアラス況ヤ其夫ニアラサル者ニ於テヲヤ本邦從來ノ慣習女子ノ外交ヲ禁セシヨリ隨テ其見識狹隘ト爲リ遂ニ男女智識ノ海外諸國ニ比スルニ大ヒニ懸隔アルニ至ル是レ教育ノ然ラシムル所以ト雖ヒ亦彼ノ第二ノ天性ヨリ養陶シ來レル者ナキニ非ス故ニ今一朝ニ之ヲ掃拂セントスルモ或ハ能ハサル有ラン實ニ遺憾ニ堪ヘサルナリ余史ヲ閲スルニ天正元錄ノ頃ニハ亂世打續キシヲ以今日ノ如ク學校拓ノ設ケモナク又教育ノスベッタノト云フ小喧シキ事ハナケレ共今日ノ女子ニ比スルニ見識モ頗ル高尚ニシテ氣力モ亦充分ナリシヲ覺ユルナリ彼ノ細川忠興ノ夫人明智氏ノ如キ是ナリ固ヨリ万人中ノ一人ニシテ民間ニ至ル迄十人ガ十人必ス斯クノ如クナリト言フニ非ルモ其一班ニ依リテ當時女子ノ風采ヲトル可キナリ明智氏ハ明智光秀ノ女ニシテ光秀ノ織田古府ヲ殺スルヤ忠興之ト離婚セルヲ以テ山崎戰後民間ニ在リシヲ故アリテ豐臣秀吉ノ命トシテ再婚セラレシナリ其後關原ノ戰起ルヤ忠興關東ニ在リ明智氏ハ大坂邸内ニアリ西軍ノ將石田三成以謂ラク諸將ノ妻子ヲ城中ニ收メテ質トナサハ假令一旦關東ニ應スル諸將モ内顧ノ憂アレハ必ス西軍ニ歸スルナラント則チ先ツ第一ニ使ヲ細川氏ニ遣リ言ハシメテ曰ク世の中騷かしければ急ぎ城中に入らる可しト再三之ヲ促ス夫人老臣等ヲ名シテ曰ク汝等も知る如く殿の出陣し賜ふ時能く此邸を守りてよと仰せ置かれしに如何ぞしてか他人の命に從ふ可き若し強てとあらば邸内を焚き潔く自害せんのみ汝等暫らく防戰せよと云ハレケレハ老臣等涙ヲ振フテ退キ三成ノ使ニ答テ假令如何なる罪を蒙る共此處を立去るまじト云ヒケレハ三成怒リ此儘差置キナハ由々敷大事ヲ起ラント兵士三百人ヲ遣シ捕ヘ

來ラシメントス夫人ハ十才ナル男兒ト八才ナル女兒トヲ膝近ク招キ和子等よ能く聞き賜へ人は死を可き時ゐ死あされど死よ勝る耻ありとか云へり雖しと雖とも武將の子なれは未錬の舉動爲し賜ふなト言訖リ之ヲ刺殺シ遂ニ自害セラル三成之ヲ聞キ大ニ駭キ是ヨリ復諸將ノ邸ニ迫リテ入城ヲ促スヲ止マレリト苟且ニモ高貴ノ夫人タル者ハ斯明智氏ノ如キ節操義氣ナクンハ能ハス殊ニ近來ハ海外ノ交際モアリ高貴ノ夫人ノ海外ニ航シ或ハ外人ト席ヲ共ニスルヿ瀕々ナレバ其一舉一動特ニ一身一家ノ耻辱ノミニ止ラス大ニ本邦ノ榮譽ニ關スルヿナキニ非ス夫レ朝ニ紘ヲ花街ニ弄スル少女ニシテ夕ニハ高閣ニ席ヲ正フスルノ夫人果メ能ク斯事ヲ爲ン乎吾輩客年西南ノ變屢冷汗濕背ノ報ヲ聞クアリ豈特ニ花街ノ少女ニ止マランヤ嗚呼事變ニ際シテ能ク其身ヲ處スル夫人明智氏ノ如キ今其人アル乎

○勸敎少若（アトウハイス、ツー、ユース）（前号ノ續キ）

英國人コベット氏著
社員　甘糟鷲郎　譯

此有名ナル著作者（ドクトル、ジョンソンヲ云フ）彼ノ字典ヲ纂輯セル時ハ未タ奢侈ニ耽ラス未タ富有權威ノ爲メニ誘入セラレテ奴隷ニ陷ラス其記文著述ハ誠實不屈ノ氣象ヲ帶ビタリ節儉ナル時ニハ大ニ民權ヲ保護シタレヒ遂ニ驕奢ニ沈溺シテ其確論一變シ今ハ無民委課（タキセー、ジョン、ウホザウト、レフレセンテーション）稅ノ深キ主張者トナリ加之課（タキセトジョンイ、チチコーン）稅不苛改ト題セル書ヲ著ハセシハ彼ノ不正殘忍ナル戰爭ヲ發起シ遂ニ英領ヲ分テ强大ナル亞米利加合衆國ノ獨立ヲ來タシ現時英國ノ最モ恐ル可キ比肩國トナレルノ基ト云フ可シ

ドクトル、ジョンソンノ像ハ聖保兒大寺（セントポールスカセドラル）ニ安置セル最初ノ者ナリ是レ則此人ノ斯ル名譽ヲ得タルハ善德ノ然ラシムル所ト目視ス可ラサルノ徵ナランノ

カ何トナレハ甘ンシテ年給ヲ受クル者ノ數ニ入リ其自ラ著述スル文記ニ從ヒ實ニ國ノ奴隷タルヿ詳明ナル人ノ像ヲ聖保見大寺ニ宗置シ後世人ノ敬禮ニ供スレハナリ

世ニ秀才英明ノ人ニシテ單ニ贅澤ノ習慣ニ染マルノミニテ漸次ニ無能無力貶見ス可キ輩トナル例ハ枚擧スルニ遑アラス實ニチヤーレスフオクス（英國ノ有名ナル大臣ニシテ政治學ニ長スシヨルジ第四世ノ代ニ興隆セリ）ノ如キハ後來大事業ヲ成シ萬世不朽ノ榮名ヲ天下ニ轟カシ後世ヲ照ラスナラント世人大ニ期望セリ不世出ノ才ヲ抱キテ而メ天下ノ望ヲ負ヒ國民大ク之ニ服シ之ニ與ミス加之時ノ形狀ヲ考フレハ其才ヲ實施スルニ最適應セリ時ノ比肩者ピットト其優劣ヲ比スレハフオクスハ議論正明ニ判決誠實ナルヿ明白ナリ然レトモ其一大缺点ハ浪費贅澤ノ習慣ニアリテ常ニ以テ富人ニ依賴スルニ至リ天ノ賦與スル奇才ヲシテ徒ラニ榮華ノ私利ニ互ラシム斯ノ如キ奇偉ノ人ニシテ斯ノ如ク歡美人爲ヲ負ヒナカラ國ヲ利セスシテ終ニ一朝ノ露ト消ヘタリフオクス若シ早ク世ヲ終ヘタランニハ世人國災視シテ哀嘆悲愁ニ沈ム可カリシニ今ハ唯一人大息ダニスル者ナク空シク墓下ノ骨ト化セリ

是故ニ或ハ美服ヲ着或ハ屢劇場ニ至リ或ハ馬ニ騎リ馬車ニ乘スル等ノ浪費ハ最避ク可キヿナリ若輩ニ於テハ格別ニ衣服ニ注意ス可シ無益ニ錢ヲ費ヤシテ身ヲ飾ルハ虛傲心ノ然ラシムル所ニテ假令ハ衢街ヲ徘徊スル時行人必ラス己レガ美服ヲ賞讃シ自ラ敬禮スルニ至ルナラントハ粧扮者ノ意思ナル可シト雖ヒ此ハ大ナル了簡違ヒト謂フ可シ聰明ナル人ハ此等ノ粧扮者ニ少シモ注視セス又此ニ均シキ虛傲心ヲ抱ク者ナレヒ之ヲ見テ其衣服ヲ以テ人

ヲ迷ハサントスル卑シキ意思ヲ悟リ以テ之ヲ貶見スル者ナリ富豪家ハ全ク之ヲ輕視シ而シテ均シキ虛傲者ハ彼ニ及ハサルヲ知レハ之ヲ妬ミ之ヲ惡ムナリ總テ衣服ハ職業及ヒ分限ニ相當セザル可ラス醫者ニシテ匠人ノ服ヲ着スルカ如キハ職業ニ於テ不相當ナリト雖ヒ舖商記薄者番頭職人等ノ無益ニ金銀ヲ抛ツテ衣服ヲ飾ルヲ要スルノ理ナシ外見ヲ飾ルノミニテ己ニ利セントト欲スルハ大過ナリ他人ノ敬禮ヲ受クルニハ有用有益ノ才能ナカル可ラス輕卒虛妄ナル婦人ニ對シテハ屢美服ノ効驗ナキニシモアラサレヒ慨シテ婦人ノ男子ヲ評スルニ其外見ノミヲ以テセス尙深ク穿鑿シテ其心中ヲ探リ而シテ後其眞僞ヲ考定スルモノナリ若シ單ニ美服ヲ着スルノミニテ愛戀スル如キ婦人ヲ娶ラハ節儉ニシテ能ク貞操ヲ守リ心聰明ニシテ久シク親睦スヘキ氣質ヲ存スルヤ否ヲ思考スヘシ人ノ天然ノ美ハ全ク人造ノ美ト異ニシテ婦人ニ於テハ最重ニスル所ニシテ亦男子ニ於テモ稍効アルハ古今ノ例ニ明白ナリ然ラハ則高價ノ衣服ヲ以テ美ヲ飾ルヲ第一トシテ天然ノ美ヲ第二トスルヲ要セサル可シ婦人ハ殊ニ一般此点ニ於テ最着眼銳敏ナリ鬚ヲ以テ半面ヲ掩ヒ又ハ滿面ニ泥濘ヲ塗リ身ニ爛布ヲ纏フト雖ヒ天然ノ美ヲ容易ク發見ス可シ故ニ婦人ハ自身ニ何程虛飾スル共男子ノ虛飾ヲ貶見スルモノナリトノ詞ヲ諸君貴重ナル秘事ト見傚シ之ヲ思ヘ之ヲ守レヨ

（以下次号）

○今回ヨリ設錄欄内ニ於テ時々理化學問題ヲ記載シ該學科研究ノ小學生徒諸彦ノ參考ニ供ス可シ該學科ニ從事スルノ少年幸ニ斯意ヲ了シ答記ヲ爲サハ新聞原稿ト書シ帶封ヲ以テ本社ニ投寄アレ号ヲ追テ次回ニ答記及姓名ヲ揭ゲン。

(1)　大陽ノ光線ヲ視ルニ其光輝中ニ黃色ヲ多ク帶

ルハ何ノ故ソヤ

(2)暗夜火災ヲ觀ルニ遠所ニ在ルヲ誤テ近所ニ在ト爲スハ其理如何

(3)發響体分子ノ顫動ヲ試ミンカ爲メ弓絃ヲ以テ銅板ノ端邊ヲ摩擦シ聲音ヲ發セシメテ之ニ纖沙ヲ撒スレハ砂粒跳躍シテ板面ノ顫動セサル諸部ニ聚列スト雖モ若シ砂粒ニ代フルニ細粉ヲ以テスルトキハ反テ其顫動スル部分ニ聚積スルハ何ノ理ソヤ

(4)茲ニ甲乙二人アリ一人佇立セシニ一人走リ來リテ其頭額ヲ擊突スルトキ互ニ其痛傷ヲ均フスルハ何ノ理ソヤ

(5)水ノ沸騰シタル後更ニ火力ヲ強フスルモ熱度ノ增加セサルハ其理如何

以上

○社員杉山重義譯述ノ家中教育論前号ノ續キ今回掲載致ス可キノ處編輯ノ都合コレアリ次回ニ相讓リ候

雜報

○三重縣下阿曾浦は南島濱海の小村落あて山田より山と隔て九里余もあり其戸數と僅ゐ二百斗りの地であるますが去る十一日から同校の生徒二名を野後學校の生徒三名全科卒業の大試撿があり縣令の代理として學務課長野村君が出張されしゐ中々の上出來でありしと該地出張の社員より實見の報知が五ざりました是等ハ定めて父兄の篤志と教員の董陶の宜しきを得たるより斯く進歩しさのでありましよう

○鹿兒島縣では彼の私學校を伊知地正治君が再興さるゝ見込の處何故か同氏の意の如くならざる由有志者と大概去年の亂ゐ死ゐ盡くしたのかしらん

○何方も演說會と盛んと見へまして伊勢安濃津で

去る八日養生學校と假場とし師範學校の椿先生豐功社ノ黃檗道人と當地ゐも曾て居れ玄管野虎太君の演說がありましゐゐ大數の聽衆にて半頃から校門を鎖ゐれました位であつたと

○西洋紙を製モ可き原質の樹木をアマハタとかいひ地理局の官員が査出されしゐ信州路より東國邊に澤山生茂する松なる由は此程或る新聞に見ましゐがそれと試に漉かせゐれし處至極精良の品位でありしとか誠ゐ結構

○何處でも少ー田舍の名が付くとこんな者ゐて三重縣は津の師範學校を初め暖室燈の設けがなく村落れ學校抔と火の氣もない位故生徒の放課ゐなりて歸宅モる折は顏も手も足も眞赤ゐ凍へ何れもがスウ〳〵云ひながら走り歸りますと全體土地と暖かなはづながら隨分寒い故健康を害せぬ位ゐとしたいと松坂の老姿心さんより

○支那でも近頃海軍を盛大ゐ着手するとか聞きましたが何といふても大國故もだん〳〵出來ません又臺灣との戰も追々勝利だとか一度でも負けては大變

○滋賀縣學務課長の奥田榮世君が過日當府學事の景況を見に參られしが其時の談話ありとて浪れ聞きましたに同縣も同君が赴任されてより此かた漸々教育の方法抔も一定されし程で是迄モ容易の功勞ではなかりシゐどうか此度又普通小學教科の改正ゐ着手せゐるゝよーゐて其御見込では教科書に適當の者がなく兎角長ー短ゐと云書籍のみで授業上ゐも差支もる故同君が悉皆編纂さるゝ筈なりとか尤文部省出板の小學讀本四五東京師範學校編輯の地理初步位と御手入でも用ゐになるとかさもがゝ一縣の學事を擔任せらるゝ丈ありて御勉强の事てれまモ定めて適當の能き書物が出來ましよう

○當府も亦是迄の小學教則は御改正ゐなり普通小

學高等小學の二に分れ何れも學科を三年位宛とし高等小學を卒業さるゝと直ゐ專門學校に入校にある都合だとか授業法抔も余程の變更で單語連語い素讀とかり試本も由中さんの三の卷までゝ地理書と地圖と用ゐて口授するのだとか其御達も近ち出るよふすた抔と申して此間弊社の前を通りながら田舍の教師さんふしき人が咄しましたが信偽と

○愛智縣では是迄も女子の教育に頗る御世話があるそうよきゝましたが此ほど學務課員林守清君が當府を初め京都、兵庫、堺、滋賀、三重等の諸府縣と巡回ゐて女子教育の景況を實見され尚一層女子教育を盛大ゐざるゝ御見込のよゝ弊社の松本天琴と舊識だとて態々尋ねられ同縣の學事近況と咄されましゐ追々五覽に入れ升

○但馬國の養父郡は學校の數二十程もあり其中八木學校といふが第一隆盛のよし過般大試撿か三度ありゝゐ優等生が滿校拳てといふ位で臨席されき取締さんも大に感心されしとか是れは全く教員の荻坂さんとかの五勉屬ゐよるとの五投書がありましたが其節兒島六吉さんと米田久瀧さんの作文を寄せられましゐが今回と御預り申して後日頴才新誌でも發兌致します日に御目に掛げまきよう

○餘り面白ろくもありませんがれ子さん方の戒ゐもおろ噺かと老婆心に書立てまそ一件は東京越前堀壹町目壹番地青柳龜吉(七年)と裏の明地で飛たり跳さり得意ゐ遊て居ると傍ゐ立掛て有た材木が倒れて頭と碎かれ即死しましたと是れだから子供の惡る騒きと親が注意しないとなりません斯子も定めて學校は嫌ひでありましたろふ

○三四日前或る警察署前に年頃三十四五で容貌も醜くからぬ女房体の婦人が手に一通の封書を持ちて門監をして居らるゝ巡査ゐ向ゐ言葉遣ひも丁寧

ゐ是れと此方でお扱ひゐなりますかと問ひき故巡査とさそが人民保護の御職掌だけありてそれと郵便の切手賣捌所て印紙を買ひそれにとりつけて辻に在る郵便箱に入れるのだと教へゐれますと一禮きて行きましたが烏渡見た所でも相應の家の內義と見へますが警察署と郵便局の分ちが付かぬをいふはどうした事でありまーよう何れ斯人も書と手習をせぬ仲間と見へまそ

○近頃と各地共ゐ女子教育に御世話がありまゐ故藝娼妓までも其思澤ゐより晩年ゐ至り女一人前の手藝ゐさしつかもるよふの事もなく又一朝龍飛登門きてもさまで出化の皮かあらわれぬとかいふ咄ーに此間播州より歸坂した人より又聞きでとありますが姫路と飾摩縣廢止ノ後以前とと變り大に衰微ーましたが大坂鎮臺の分營があるので同所の猫連抔も生活をします其猫連の學校が近來法則を一變せゐれ專ら手藝の伎倆と教へゐる、事にありて中年以上の者は自ら紡績より織方迄を擔當さるゝとかて眞黑ゐなり勉强されまそし裁縫も袴帶抔ゐ洋服まで夫々立派ゐ仕立ゐそと其中ゐ元助教まで進級せゐれー小德さんとかいふ人と終ゐ登龍して今では花街ゑ離れ田、村れ內ゐ大層奇れ尉の家の細君ゐ進まれしか却て手藝い外の正當正眞ノ內室方より勝りて居るとか全く開明の餘德と存し升

○伊勢國山田邊の或學校とかでは生徒の試驗の事で試驗教師と生徒の父兄達と何か紛紜が出來さとか申して三重縣の學務課長が御出張ゐありましたとか又ーても父兄の頑固で落第の事でも彼是申すので有ましようがそれほど落第が懼ろしいなゐ平日から注意して良き教師をなせ雇ひ入れぬか出來もせぬ業と以て出來ゐ顏をしたいとはまあどうしさことてそね

○東京三菱會社の商業學校ふては是迄商業上ゑ關する洋語を教授されしが本月初旬より有名の大先生南摩綱紀君と雇ひ入れられ洋語をも教授さるゝとか

○近來小學校中二種の試授法のよふゑ言てやす彼の研究會と云ふ者は折節は隨分生徒の読ゑるなり素人考へでは良き方法のよふかもひまもが全體競爭も程度の有る者故其正方が惡るいと言てある共益のない者て記者も實地ふ就き能く經歷して居りますが今日は府下上町の師範學校で本年内小學生徒進歩の景況と概視さるゝのだとかゑて研究會と行されます其實地の景況ハ追て記します

○サー是れだから學校の教師さん幼稚の生徒ふは別ーて氣をれ付なさゆねどおりません殊に冬向き抔て大人でさへも宣ね若をーて居ると立居も儘ゑらぬ故子供は尚更の事てありまも去る十六日府下川崎町造幣局内ゑ設置ある日進學校の生徒て同局御雇靜岡縣丘秀眞氏の女フユ子(六年二月)さんと倒の通り昇校ー二階の煖室爐ゑ寄り身を暖め居りしふ如何ゑしけん火氣衣服ふ移りしより幼稚なかゆも速かふ帶を解かんとなしける中早くも火勢て盛んゑなり力に及はねは昇と揚けて人を呼ーが折節職人中尾万助ある者居合せ此体を見るより直ゑ駈付早くして衣服を脱がしめ其由丘氏へ報ゑけれて直樣局醫緒方拙齋氏ゑ大傷の治療と乞れけるも惜ゑかな全身の内大傷ふゆさる所て儘ふて手術の効も奏そるゑ詮なく同日午後四時終ふ泉下の見とはゑゆしれと大坂新報ゑありましたが煖室爐てと毎度子供の怪我をする事を聞きますれどもどうか其製法をかへたい者でも併ゑ是も學校ふよりてば六ケ敷き御相談でそからそれよりて煖室爐の周圍ゑて子供の近よらぬ注意が第一でありませう

○前回ゑゆ烏渡書を出しましが府下川口江戸場の學校ゑ集船ではなく商船學校で諸器械等は内務省より五保護の爲め御下け渡しまゆるのだと何樣

投書

前号ノ續キ

赤浦ノ一寒生

余ガ意ハ敢テ遊樂ヲ以テ業トナスヘシト云フニ非ス嗟人命ハ至貴至重ナル所以ヲ示シ且精神ヲ勞役スルモノハ時々曠闊ナル地ニ出テ隨意ニ運動ス可キヲ勤ムルニ在リ我國人(米人)ハ英人ノ如ク能ク山野ニ遊ヒ狩獵スル者ヲ見テ開化ノ度未タ熟セスシテ輕浮ニ出ルト評スレトモ概シテ英人猟人ハ心ト体ト親時ス可キノ理ヲ認知シタルモノト云フ可シ我國(米國)ニテ彼ノパーメル・ストーン ノ如キ大臣ノ七十余年ニ及ヘドモ老衰ノ狀ナク英國ノ政務ヲ擔荷セル者ヲ生セサルハ蓋シ此ノ過ヲノ然ラシムル處ニ非サルヲ得ンヤ

又更ニ一言ヲ加ヘテ我國人ハ体内ノ諸機關ノ感覺ヲ練磨スルノ緊要ナルニ注目スルモノ少ナシト云ハサルヲ得ス圓轉ヲ能クスル者ハ視力銃トク音樂ニ長スル者ハ聽力强ク耳目鼻口ノ感覺敏ナレハ精神モ亦愈活潑ヲ加ヘ精神愈活潑ナレハ大ニ注意力ヲ增サヽルナシ世ノ學者ヨ能ク此ノ言ヲ解セハ唯身体ヲ强壯ニスルノミナラズ勉メテ諸機關ノ感覺ヲ錬磨シ精神ノ開達ナルヲ助ケヨ

第二章　都テ如何ナル事業ヲ論セス人間生涯ハ一大事ハ我カ專一ニ當ル事ヲ前以テ準備スルノ智慧ヲ在リ茲ニ一例ヲ示シテ此ノ意ヲ詳ニ解明ス可シ人アリ其家産蔵共ニ相尋シキモノ二人アリ甲ハ常ニ金ヲ懐ニセズ何品何物ヲ買フモ皆貯金ニシテ現金ヲ拂ハス成ル丈ケ金ヲ拂フノ時ニヲ遲延センヲ欲シ或ハ旅行スルニ當テモ其行李ヲ充分ニセス時々途中旅費ノ盡クルアレハ之ヲ人ニ借ラサレ

[illegible]ノ狀アルモノ若々アル歟ナリ[illegible]士ト[illegible]ル者ハ其他一切其所
[illegible]ヲ見ルニ其金ヲ蓄ノ準備セサルヲ以テ狀況恰モ
貧乏自ラ給スル能ハサル者ト擇ブナシ是レ唯其所
有ヲ費スノ法ノ巧ミナラサルニ由ル是ニ反シ乙ハ
其歳入歳出共ニ甲ニ等シト雖ト雖現金ヲ以テ物品
ヲ購求シ常ニ嚢中多クノ金ヲ貯蓄シ餘ハ之ヲ銀行
ニ預ケ其容姿優然トシテ曾テ不自由ナキ者ノ如シ
此ノ故何ソヤ是レ一年ノ出入ヲ計較シ能ク節制ス
ルニ因ル此ノ二人者皆其出入共ニ同シクソハ當ニ
万事モ亦同シカル可キニ甲ハ貧窶ニシテ乙ノ富饒
ナルハ節制準備出入盈虫トニ因ラサルヲ得ンヤ
世ノ學者ヲ見ルニ於ルモ亦然リ才智ニ饒カニ學識
餘リアリテ我カ爲ス可キヲ識メ爲ス能ハ人アリ
又之レト才智學識ニシテ常ニ不足ノ色ヲ帶フルア
リ新聞記者ノ如キ數見ノ規迫ルニ及ヒテ始メテ筆
ヲ執リ窮迫沉思シテ手ヲ頤ニ加ヘテ揮思ニ苦シム
ノ狀アルモノ若々アル歟ナリ[illegible]士ト[illegible]ル者アリ
可キ講義ノ考案ニ迫リテ窮迫悶々ノ狀アル者アリ
傳教師ノ必ス毎日曜日ニ說法ス可キ考案ニ苦レミ
土曜日ハ終日日外ニモ出テス沈々默々スル者アリ
皆準備ニ怠ルノ罪ノ招ク處ナリ故ニ若神ヲ運用ス
ル習慣ノ正シカラサル者ハ其中心安カラス樂マス
惱々トシテ生涯ヲ窮リ爲メニ天性ヲ短縮スル者無
キニ非ス其急迫ノ際ニ至リテ爲セシ處ノ事業ハ必
善良完全ナラサル者ニシテ多クハ失敗ヲ釀ス者ニ
非サルナシ今茲ニ一例ヲ擧ケテ事ヲナスノ適法ヲ
示サン五六年前ニコーセセーナルエリヤベス出
生ノドクトル、モルレーナル人ノ成ル處傳教師ノ
集議ニ出テ各人ノ爲ニ勸言ヲ作ルノ義法ヲ論スル
ニ際シ氏ノ言トルハ予ハ常ニ一回ノ勸言ヲ作ルニ
必ス前四五日コリヤテ毎日全ク此業ニノミ從事ス
ルカ故ニ常ニ四五回ノ稿備アラサルナシト實ニ其

言ニ遂ハス氏ノ死後ニ至リ其筐底ヲ探ルニ沈思深
考シテ丁寧ニ書寫シ未タ一回モ說法ニ用ササルモ
ノ四篇ト未タ書キ終ラサル者一篇トアリ氏ハ曾テ
八回分ノ勸言ヲ準備シタルヿアリト言フ此他多ク
ノ書ヲ著シ又ニコーヨルシ。オブセルブル ト稱ス
ル新聞紙ニ必ス毎周一回ノ投書ヲナシ又傳教師ノ
集議或ハ學者ノ集會ニ臨席スルヿ數回ナリキ斯ク
種々ノ事業ヲ擔承シツヽ時日ノ切迫ニ際シ準備ナ
キニ狼狽セシヿナク常ニ閑雅優悠餘地アリシハ蓋
シ此ノ前以テ其事ヲ準備セルノ好習慣ニ因ルニア
ラサルナシモルレー氏ハ余カ親シク知レル處ノ人
ナリ曾テ其傳教師トナレル時ノ事情ヲ自ラ余ニ語
リシヿアリ已ク始メ神學校ノ課程ヲ卒業シ頃ラク
シテペンシルバニア州ノ サルクス。パールノ法教
師ニ任セラレ始メテ講座ニ昇リテ說法スル時ニ當
リプレスビテリアン試文(聖蘇宗ノ一派)ト題スル
モノ、外ハ一モ前以テ用意シタルナカリキ然ルニ
此ノ一日ニシテ案テ思考セシ處ノ考案ヲ講說シ了
リタルヲ以テ翌月曜日ハ早起シテ書齋ニ引キ籠リ
次回ノ考案ヲ撰成セント欲シテ少シモ撓マス屈セ
ズ我職務ヲ果クス日ニ至ルマテハ毎朝此ノ事ニノ
ミ從ヒ決シテ孟浪漫面無益ニ時日ヲ費サス故ニ其
際ニ至リ狼狽倉卒ニ用意スル等ノ怠ナナセシヿナ
シト氏ハ此ノ說法ノ考案ノミナラス諸事皆此ノ法
ヲ以テ處セシカ故ニ常ニ準備整然トシテ曾テ時ノ
窮迫ヲ覺ヘス悠然トシテ安心ナルノ風ハ氏ノ容貌
ヲ見テモ知ルニ足レリ是則智識ヲ使用スルノ巧妙
ナル手段余ニシテ普チク世人ノ龜鑑トモナス可ク
就中處生ノ尤モ注意ス可キ處 頗大妄誤ナリ
若シ讀者余カ母ヒ自身ノ例ヲ擧テ詳明スルヲ咎メ
スンハ猶此ニ數言ヲ添ンヿヲ望ム余カ今ニ至ル迄
茲ニ二十五年其間ノ職務少ナシトセス又容易ナリ

トセス其事タル場合ニ關スル業ニシテ中ニハ其事ノミヲ書トシナ解説スルニ非レハ成リ難キ程ノ難事亦往々アリサレハ是迄同樣人ヲシテ一時間モ脫稿ノ遲キニ苦シマシメタルコトアラザリキ是レ余ノ自信スル爲ノ一事ナリ是レ全ク余カ筆稿時間ノ他人ヨリ多キニ非ス又文ヲ綴ルノ他人ヨリ早キニ非ス唯前場ヲ除ノ用意シ置クノ習慣ノ他人ト異ナルアルノミ然ラスンハ余カ擔承スル事務ノ頗ル余カ生命ハ數年前ニ既ニ空シカラン（以下次号）

官報

○天第百八十八号

講學演説等集會ノ節屆方左ノ通相定候條此旨管内無洩相達候事

明治十一年十二月十二日　大阪府知事渡邊昇

第一條　凡政談講學ヲ目的トシ衆ヲ集メテ演説若シクハ議論スル者ハ係メ會主及ヒ會周三人以上ノ姓名ニ以テ屆出ル當分警察署（所轄ヲ出ス可シ

但定日時ヲ若シ屆書ノ日ヨリ少シモ三日前ニ屆書ヲ出ス可シ

第二條　屆書ニハ會合ノ趣意場所及ヒ定日時又ハ定日時ナキ可及會主ト會員三人以上ノ住所屬族姓名ヲ明細ニ記載ス可シ

○無号　各小學校

本年内生徒進歩ノ景況ヲ概視スル爲メ本月廿一日正午十二時ヨリ師範學校ニ於テ研究會開場候條下等第一級ヨリ上等第五級生マテノ内ニテ市中ハ一校ニツキ二名其内郡中ハ一小區ニ付二名其内同日午前第十一時迄ニ集合可致此段相達候事

但右研究出席生徒市中ハ一聯内ヲ纏メ聯區監事付添郡中ハ一大區内ヲ纏メ聯區監事一両名付添可申候事

明治十一年十二月十二日　大阪府

廣告

東京中村正直先生序
米國羅閣遠氏原著
東京柴田清亮譯

幾何學　前編

東京室町三丁目十番地　中外堂出板

此書ハ方今專ラ世上ニ用ヰル書籍ト同シカラス繁ヲ去リ簡ニ就キ了解シ易キヲ主トスレハ初學ノ諸子ト雖モ其要領ヲ得ル難カラス尤有益ノ書ト云可シ

社告

○本紙新紙次回廿四号發兌ハ來十二年一月一日ニ付盛三治ニモ有之依刊至シ十一日ヨリ發兌致候

○東京メトロポリタン遠鳴官立師範學校本年生ニシテ從來就學立學校ニ來ラセサルシ我國アリ今回非常以上ノ勉學ヲ以テ生徒ニ勸ムルスト雖モ有之候ハヽ地方ニ輪番ヲ以テ相應ノ謝礼アタハ至急本社迄御通知ニ詳フ

○府縣中小學教員或ハ師範學校教員等御採用ノ際ハ住所及給料等御記載御申越シ被下候ハヽ適當ノ人物御周旋可仕候

○各府縣教育委任ノ諸官市（學務課學校世話役巡回教師等）其區域内ノ學校或ハ生徒等ヘ御頒布ノ爲メ取纏メ本紙ヲ購求致度節ハ拾別相働キ賣捌直段ヲ以テ差上可申候

○教育ニ關スル物品乃チ書籍筆墨紙其他學校用諸器具共賣弘ノ廣告ハ廉價ヲ以テ御引受ケ可申候定價左之通

一行ニ付一号分金二錢　仝一ヶ月分金一錢八厘

書ハ其行數ノ割合ニヨリ申受別段增價不致候

○各官公立師範學校卒業ハ戸ヽ專門各家ニ從ヒ其學科ヲ修業セシ證書所持者ハ其學職御屆ニ有之候ハヽ地方ニ輪番ヲ以テ相應ノ謝礼ヲ御送致可致之義本紙ニテ部告可致候

2V-83

○本紙ハ外々ノ新聞ト異ニシテ專ラ教育ニ關スル議論ヲ編述シ教官或ハ學生等ノ尊覽ニ供スル目的ナレハ王論名説等ハ散逸ナク御投寄ヲ乞フ

○本社編輯官中代價相滯リ一應御督促申上尚金員御廻送不被下御方ハ以後郵便先拂ヲ以テ可申上候條兼テ此段御諒申上置候

本社新聞定價

一部金四錢○一ヶ月前金十錢○三ヶ月同二十八錢○半ヶ年同五十錢　府外遞送ノ分ハ定價ノ外每号壹錢宛郵便税申受ク候且前金ノ期月相切レ候共御斷ノ御沙汰無之間ハ引續差出可申候事

本局　今橋壹町目十四番地　大坂教育社

編輯人　野澤玄宣

印刷人　天野皎

賣捌人

東京新肴町　育社
大坂府下心齋橋筋二丁目　取社
仝堂島中一丁目　雲堂
仝備後町心齋橋筋　吉岡平助
仝安土町心齋橋通　北尾禹三郎
西京寺町御池下ル　壽昌堂
攝津國神戸相生町　鳩居堂
陸前國仙臺國分町　菅原安兵衛
三河國新城本町　三原屋絞三郎
紀伊國和歌山小野町一町目　集成舍
備前國岡山榮町　細謎舍
讃岐國高松南鍋井町　開文舍
伊豫國松山濱町　玉井新次郎
同　書林　土肥與平

印刷　大坂新報社

終